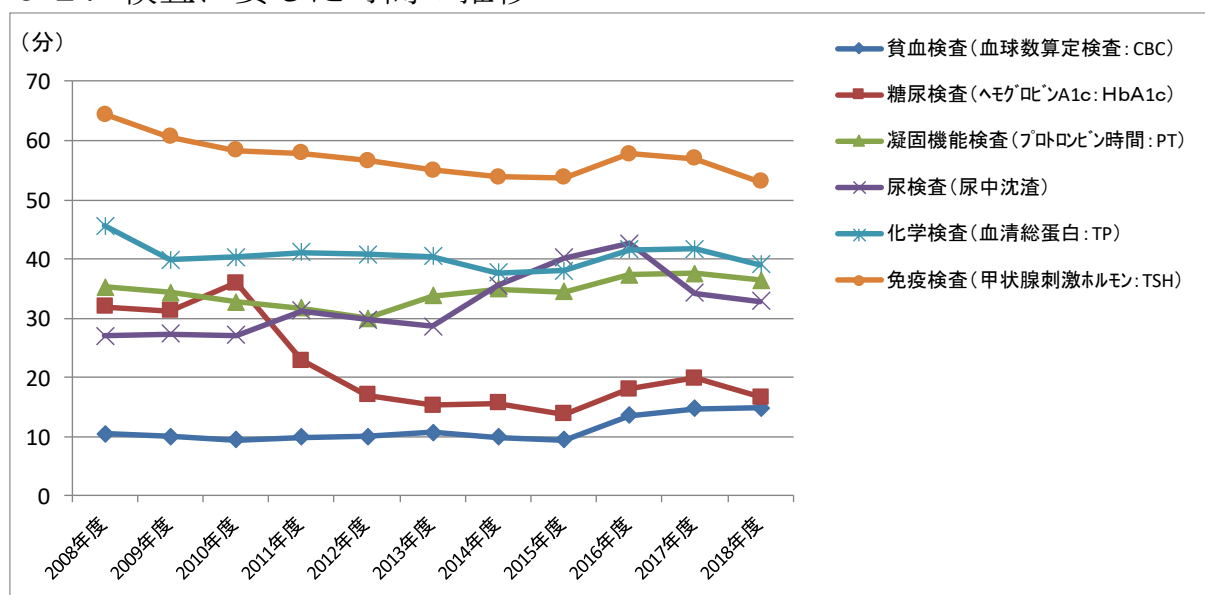


## 9 2. 検査に要した時間の推移



外来患者における血液や尿などのスクリーニング検査の結果報告時間の短縮は、患者サービス向上は基より質の高い医療の提供に必須である。

従来の集計方法は「検体の到着（受取）から検査結果報告」の時間であったが、2016年度からは、よりの確な時間把握を行うため、「採血終了から検査結果報告」の時間を集計している。そのため、グラフ上では、少し結果報告時間が遅くなったように見えるものの、概ね60分以内の検査結果報告は実施できている。またここ数年は少しずつ報告時間の短縮化が為されている。数値は、あくまでも平均報告時間の数値であり、検体の中には再検査等により1.5倍程度の時間を要する検査も存在する。今後、いかに多くの検体を1時間以内に結果報告ができるかが課題である。

データ提供 臨床検査部